



# 平成30年度 予算編成に対する 予算要望書を提出



昨年の11月7日、平成30年度の新友会からの予算要望として、市民の皆様の安心・安全な生活、福祉向上のため、加藤市長へ最重点事項207項目をはじめ、計337項目にわたる予算要望書を提出しました。

平成30年度予算要望の主な内容と、平成29年度予算要望で実現した主な事項についてご紹介します。

## 総務部会



後列左から 小林 治晴 小林 義直 北澤 哲也  
前列左から 手塚 秀樹 小泉 栄正

- 総務部：** 公共施設マネジメントについて、市民理解を深めるとともに、公共施設等総合管理計画に基づき、市域全体のバランスや地域特性等を考慮した個別施設の対応方針を検討すること。
- 企画政策部：** 人口減少対策として「定住人口の増加」「交流人口の増加」「特色ある地域づくり」を実現するため、人口減少対策を総合的に推進すること。
- 財政部：** 新年度予算の編成に当たっては、「選択と集中」を徹底し、本年度スタートした第五次総合計画に則りつつ、本市が抱える喫緊の課題に対して、予算を重点配分すること。
- 地域・市民生活部：** 地域おこし協力隊への期待が高まる中、中山間地域の活性化を図るため、地域要望に叶った隊員の採用を積極的に進めるとともに、任期終了後の定住に向けた支援に努めること。
- 消防局：** 年々増加する救急需要に迅速・的確に対応するため、高規格救急車の更新、救急隊員の資質の向上を図るとともに、地域防災の要である消防団員の装備の充実、処遇の改善など積極的に推進すること。

### 総務部

いざというときに住民自らが円滑で迅速な非難ができるよう、土砂災害警戒区域等の指定が行われた地域に対して、平成29年度中に土砂災害ハザードマップの配布が完了するよう準備が進んでいます。

### 企画政策部

人口減少対策については、本市の重点課題として、全庁を挙げて部局横断的に取り組み、予算の重点配分を図り、総合的かつ積極的に推進しました。

### 財政部

担当部局において、建設工事の下請契約について適正な金額で締結されているか、下請契約書の写しにより確認するなど、部局横断的に取り組んでいます。

### 地域・市民生活部

- ①防災拠点でもある支所庁舎の耐震化を計画的に進める中で、更北支所が建て替えられました。
- ②中山間地域と市街地の相互理解を図る活動が積極的に進められました。

### 消防局

中央消防新庁舎、鶴賀消防署の開署など新たな消防体制をもって、消防力全体の充実強化が図られました。



▲中桑・芹田地区住自協交流の様子



▲長野市消防局中央消防署開署式

## 経済文教部会



後列左から 野本 靖 西沢 利一  
前列左から 三井 経光 市川 和彦

- 農林部：** ①「長野市農業振興アクションプラン」を効果的に実行し、農業・農村の持続的発展を図ること。  
②長野市農業研修センターの運営を適正に行い、新規就農者や定年帰農者等の育成等により本市の農業の活性化のため有効に活用すること。  
③野生鳥獣対策の積極的な推進と支援の拡充を図り、併せてジビエ振興のため加工処理施設の整備を推進すること。
- 商工観光部：** ①企業による都市部から地方への人や仕事の流れを創出させ、柔軟な働き方の実現と地域の活性化を図るため、企業のテレワーク促進に必要な措置を講じること。  
②公共職業安定所など、関係機関と連携し、市民の就労支援を推進すること。特に若年者への就労支援や職場への定着に必要な対策を推進し、必要に応じ、助成金の交付を検討すること。  
③東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、外国人観光客（インバウンド）の増加が見込めるため、関係自治体等と連携し、海外に向けた情報提供とその誘客戦略を構築すること。
- 文化スポーツ・振興部：** ①長野市芸術館が、市民が気軽に集い、憩いと交流の場となるような環境づくりを行うこと。  
②長野冬季オリンピック競技大会開催時の施設は、いずれも経年劣化してきていることから、計画的な施設の長寿命化等について検討すること。
- 教育委員会：** ①本格的な人口減少社会における、少子化に対応した子どもにとって望ましい教育環境の在り方について、検討委員会や特別委員会の議論を踏まえながら十分に検討すること。  
②老朽化や劣化の激しい校舎・体育館について、長寿命化計画の策定に取り組みとともに、普通教室へのエアコン設置やトイレの改修についても研究検討を進め、学校教育の環境整備を図ること。



▲長野市農業研修センター

### 農林部

- ①平成29年4月に、長野市農業研修センターがオープンしました。新規就農支援や定年後の帰農者の育成等、今後の農業振興に向けた有効活用が期待されます。
- ②ジビエ肉処理加工施設の建設場所が、中条地区「道の駅 中条」東隣の市有地に決定したことから、測量等の事前調査が実施され、29年度内に施設整備に向けた設計が完了する見込みです。

### 商工観光部

- ①雇用のミスマッチ解消のため、人材不足が特に顕著な建設業をモデルとして東京圏からの引越し費用の補助制度が始まりました。
- ②外国人観光客（インバウンド）の需要の高まりに対応するため、Wi-Fi接続環境等の受入整備が進みました。



### 文化スポーツ振興部

- ①地域に伝承されている民俗芸能等の保存伝承活動に対する助成を引き続き行うとともに、5月には獅子舞フェスティバルを開催しました。
- ②大豆島地区に建設していた「長野市宮健康レクリエーションセンター（サンマリーンながの）」が12月に竣工し、3月にオープンする予定です。

### 教育委員会

- ①学力向上策をまとめた「しなのきプラン29」による3年間の取組により、全国学力・学習状況調査の結果は、小学校では全国平均を上回り、中学校では全国平均との差が縮まりました。
- ②平成29年4月、市立長野高等学校に併設された市立長野中学校が開校し、中高一貫した教育の推進を図るとともに、基幹校として実践研究・公開授業等が積極的に行われました。



▲市立長野中学校開校式

## 福祉環境部会



後列左から 中野 清史 岡田 荘史 松田 光平  
前列左から 山本 晴信 若林 祥

- 保健福祉部：** ①長野市健康増進計画及び長野市食育推進計画に基づき、市民の健康寿命延伸及び「食育」の総合的かつ計画的な推進を図ること。  
②国民健康保険料の収納率向上及びジェネリック医薬品の利用促進などによる医療費縮減等を図り、国保財政の安定化に努めること。  
③市民病院において、良質で安全な医療を継続的に提供するため、地方独立行政法人長野市民病院との連携を密にしなが、病院の円滑な運営に努めると共に、市域全体で均衡のとれた医療提供体制がとれるように努めること。
- 子ども未来部：** ①発達障害など、特別な支援が必要な子どもに対する保育等の充実に向け、「発達支援あんしんネットワーク事業」の拡充を図ること。  
②結婚支援の取り組みを推進すること。
- 環境部：** ①市民・来訪者の安全と快適な生活環境を守るため、ポイ捨てや歩行喫煙の防止に向けて積極的に取り組むこと。  
②長野広域連合が整備しているA焼却施設については、地元及び周辺地区の住民に丁寧な説明を行い、平成30年度中の稼働に向け、確実な事業推進に努めること。

### 保健福祉部

- ①高齢者福祉課、介護保険課、健康課などと連携し、高齢者の福祉の向上を図るため、総合的な高齢者福祉政策の推進が図られました。具体的には、あんしんいきいきプラン21に基づき、日常生活圏域毎に介護サービス提供基盤を整備するとともに、昨年の長野市民病院に続き、南長野医療センター篠ノ井総合病院に、市南部地域を担当する「在宅医療・介護連携支援センター」を設置するなど、地域包括ケアシステム構築の推進が図られました。
- ②本年度スタートした「ながの健やかプラン21」に基づき、食生活の改善や運動習慣の定着など実践的な取組を進めました。具体的には、糖尿病発症・重症化予防シンポジウムの開催、糖尿病予備群への保健指導に加え、かかりつけ医と連携した取組を開始、「ながのベジライフ宣言」など、市民の健康保持・増進につながる施策を推進しました。
- ③「まいさぼ長野市」を開設して、生活困窮者の自立支援を、「ジョブ縁ながの」と連携し、生活保護世帯等の就労支援を推進しています。また、貧困を次の世代に連鎖させないため、子どもに対する学習支援事業を実施しています。

### 子ども未来部

- ①皐月保育園の移転築業にあたっては、新園の施設名称を皐月かがやき子ども園とし、幼保連携型認定子ども園とするともに、信州型自然保育を推進します。加えて研修・実習機能を充実させることにより、市内の教育・保育施設職員の資質向上及び教育内容の充実を図ります。
- ②子どもたちの成長や将来が、その家庭の経済事情に影響されることなく、夢と希望を持って成長できるよう、子どもの貧困対策を図りました。具体的には、就労支援などの母子家庭等自立支援対策を講じるとともに、子どもの成長を支援するため、ひとり親家庭の子どもに対し、生活・学習支援が実施されました。



▲皐月かがやき子ども園の建設状況

### 環境部

- ①食品ロス削減を推進するとともに、食糧支援が必要な方へ地域の資源をつなぐフードドライブ活動が実施されました。
- ②バイオマス利活用の一環として、資源作物「信州ソルガム」の食品活用を広くアピールするため、銀座NAGANOでセミナーが開催されました。



▲フードドライブ実施状況

## 建設企業部会



後列左から 寺沢さゆり つげ 圭二  
前列左から 高野 正晴 宮崎 治夫

- 建設部：** ①中山間地の狭隘路線の拡張整備を推進するとともに、市域の円滑な移動を可能とする道路網の整備推進を図ること。  
②道路整備財源の確保に努め、市街地の交通渋滞の解消に必要な環状線、バイパスの新設改修や交差点の安全対策・立体化等、建設計画路線の整備促進を国・県に対し強く働きかけること。
- 都市整備部：** 平成28年度に改定された「長野市都市計画マスタープラン」に基づき、長野市の健全で秩序ある発展のため、人口減少や高齢化社会など、社会構造の変化に対応する多極ネットワーク型のコンパクトなまちづくりの推進を図ること。
- 上下水道局：** ①老朽管の更新や施設の耐震化など多額の費用が見込まれることから、経営戦略に基づき、より一層の経営効率化と健全な経営の継続に努めること。  
②老朽施設の計画的な更新により、出水不良及び赤水の解消・有収率向上に努めるとともに、地震などの自然災害に強い施設づくりを推進すること。

### 建設部

国・県については、同盟会と連携を図りながら、整備促進の要望活動や事業協力を積極的に行いました。

中山間地域の事業協力について、やまざと振興計画等を踏まえ、「1.5車線道路整備」を取り入れた効率的なインフラ整備を進めました。



▲浅川畑山地区から浅川ダムに抜ける畑山一ノ瀬線

### 都市整備部

これまで整備・蓄積されてきた都市の資産である道路や公園、住宅等の施設を最大限に活用しつつ、様々な都市機能の複合的な集積やリノベーションを図ることにより、地域ごとの特性や歴史・文化を踏まえて安全で快適な、歩いて暮らせる魅力ある街づくりを推進しています。



▲山王栗田線

### 上下水道局

施設の維持管理費用及び更新費用の削減を図り、施設の統廃合など合理化を進めるとともに、将来を見据えた水道料金の改定をし、健全経営に努めました。



## 平成29年度予算要望で実現した主な事項